

「正義と信仰と愛と平和を追い求めなさい」

2019年04月26日

テモテへの手紙 二 2章20節～26節 さて、大きな家には金や銀の器だけではなく、木や土の器もあります。一方は貴いことに、他方は普通のことに用いられます。だから、今述べた諸悪から自分を清める人は、貴いことに用いられる器になり、聖なるもの、主人に役立つもの、あらゆる善い業のために備えられたものとなるのです。若いころの情欲から遠ざかり、清い心で主を呼び求める人々と共に、正義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。愚かで無知な議論を避けなさい。あなたも知っているとおおり、そのような議論は争いのもとになります。主の僕たる者は争わず、すべての人に柔和に接し、教えることができ、よく忍び、反抗する者を優しく教え導かねばなりません。神は彼らを悔い改めさせ、真理を認識させてくださるかもしれないのです。こうして彼らは、悪魔に生け捕りにされてその意のままになっていても、いつか目覚めてその罠から逃れるようになるでしょう。

「著者」は、「さて、大きな家には金や銀の器だけではなく、木や土の器もあります。一方は貴いことに、他方は普通のことに用いられます」と、堅固な基礎から、什器の例えに変えている。「大きな家」とは教会のことで、教会には多様な人々が集まっていると言っている訳である。そして、ある人は貴いことに、ある者は普通のことに用いられる。諸悪から自分を清める人は、貴いことに用いられ、聖なるもの、主人に役立つもの、あらゆる善い業のために備えられたものとなる。福音の真理を知り、これに忠実に従う者は、教会の善い業に用いられる。それを、金や銀の貴い器として例えている。「若いころの情欲から遠ざかり、清い心で主を呼び求める人々と共に、正義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。」と、情欲から遠ざかり、純真な心で神を求める教会の仲間と一緒にあって、正義と信仰と愛と平和を追い求めなさいと勧める。イエス・キリストに対する信仰は自分が義とされていることを知り、主イエスの愛に倣う生き方に変えられることである。それは、互いを尊重する正義であり、共に生きる平和である。これらを、真剣に求めよと勧める。

「愚かで無知な議論を避けなさい。あなたも知っているとおおり、そのような議論は争いのもとになります。」俗悪な無駄話は争いの基となり、互いの破滅へと向かう。当時の人々に広く受け入れられていたグノーシス主義者たちは、受肉されたキリストを否定し、霊のキリストを主張し、知的に受け入れ易い教理を説いた。また、宗教的感情を鼓舞し、熱狂的な宗教表現をするようになり、現実を軽視し、放縦を是認するようになった。彼らは激しい議論で、人々を説き伏せていた。

教会は、受肉されたキリストは人間の現実に関わり、この世を愛して下さったと説いて、現実を大切に考え、具体的な愛を生きることを勧めた。議論よりも、愛の行為を訴えたのである。「著者」は、グノーシス主義者たちの議論を愚かで無益な争いに見なしている。「主の僕たる者は争わず、すべての人に柔和に接し、教えることができ、よく忍び、反抗する者を優しく教え導かねばなりません。」主イエスの僕である者は争いをせず、全ての人と穏やかに接し、福音の真理を教え、反抗する者をも、忍耐強く教え導く人である。神は、反抗する者をも悔い改めさせ、福音の真理を認識させてくださるかも知れない。反抗する者たちは悪魔に生け捕りにされて、罪と悪に溺れていても、いつの日か目覚めて、悪魔の罠から逃れ、信仰の道を歩むようになるであろう。古代教会の人々はキリスト教信仰から離れた人々と闘いながら、福音の真理に立って、宣教に励んだのである。